

令和4年9月第12回松阪市教育委員会定例会会議録

令和4年9月29日（木）教育委員会室

報告事項

報告第36号 松阪市立小・中学校における副籍による交流及び共同学習実施要綱の制定について

報告第37号 令和4年度8月児童生徒の問題行動等について

出席者

教育長	中 田	雅 喜
委員（教育長職務代理者）	長 井	雅 彦
委員	谷 口	雅 美
委員	服 部	美由紀
委員	松 江	茂

出席事務局職員

事務局長	刀 根	和 宜
事務局次長	村 田	佳 之
教育総務担当参事兼教育総務課長	尼 子	宗 成
学校教育課長	金 谷	勝 弘
学校支援担当参事兼学校支援課長	大 辻	結 花
子ども支援研究センター所長	中 西	明 美

午後1時30分 開会

○教育長

ただいまから令和4年9月第12回松阪市教育委員会定例会を開会いたします。傍聴の申し出はございませんでしたので、ご報告申し上げます。

それでは、事項書に従いまして、進めてまいりますので、よろしく願いいたします。本日は、議決事項はございません。

報告第36号及び第37号につきまして、事務局から説明願います。

36. 松阪市立小中学校における副籍による交流及び共同学習実施要綱の制定について

37. 令和4年度8月児童生徒の問題行動等について

（報告第36～37号 学校支援課長から説明）

○教育長

事務局からの説明に対し、質問、意見はございませんか。

少し補足をさせていただきます。障がいのある子どもの保護者と色々なお話をさせて

いただく機会がありますが、特別支援学校に行くのか、地域の学校に行くのか、どの保護者も非常に悩まれます。どちらの学校に行くのが適切かを判定する会議があり、その判定結果は特別支援学校だったけど地域の学校に行かせたいと思う保護者の方がみえます。なぜなら、特別支援学校に行くと、地域の祭りなどに行ったときに「あの子は誰だ？」となってしまうのか心配である。しかし、地域の学校に行けば「一緒に祭りに行こう」と友達に誘ってもらえるのではないかと思っている。親が死んでからも、この子は地域で生活していくのだから、地域との関係性を保っておきたいという理由から、小中学校は地域の学校に、高校は特別支援学校に行かせたいという希望が多かったんです。

しかしながら、近年、障がい者雇用が広がりを見せてきていて、特別支援学校でしっかり清掃作業などの訓練や教育を受けてきた生徒は、障がい者枠で地元企業に採用されるケースも多くなってきております。地域の学校では、友達関係などは効果的ですが、なかなか専門的な訓練や教育に対応できるまでには至っておりません。そこで、両方のいい所取りをしようとするのが、この副籍であります。特別支援学校に学校籍を置きながら、地域の学校にも副次的に籍を置いて交流するという事です。もう少しこのような活動をしているという説明をお願いします。

◎事務局

これまでも居住地校交流という制度がありまして、居住地校の学校行事等が行われる際に、特別支援学校の先生の引率のもと、特別支援学校の教育課程の一部として参加していますが、その活動内容をもっと充実することができないかということです。このことについては、特別支援学校側の引率という課題も出てきますので、居住地校側の学校生活アシスタントの配置を工夫してやり繰りしていきたいと考えています。

これまでの主な交流活動といたしましては、モデル校では、運動会など単なる学校行事への参加だけでなく、プール遊びや音楽を一緒にしたり、コロナ前にはサツマイモ料理を一緒に作ったり、給食を食べたり年間6回程度交流していました。コロナ禍においてはオンライン交流が中心になりましたが、年間9回程度交流し、内容の充実を図ってきました。

現在は教員主導ですが、子どもたち主体の交流も始まってきていますし、この地域でこの子が育っているということを、子どもたちや保護者、地域の皆さんも意識して、この子が大人になった時に地域との繋がりも保ったまま生活していくことができるのではないかと期待しています。

この副籍による交流制度の活用により、居住地校での交流学习をさらに充実させる方向で進めていきたいと考えています。

◆委員

本当に素晴らしい取組であると思います。コロナ禍でオンラインによる交流しかできないような現状ではありますが、直接交流の場を増やしていただけるよう、さらに努力していただきたいと思います。

◆委員

制度の趣旨はよく理解できました。本当に素晴らしい取組であると思います。副籍という制度は、松阪市独自の取組なんですか。あるいは国や県の制度設計があつての

があり、何らかの課題を抱えた生徒に対する受け皿は既にあると思います。しかし、これら県立高校と中学校との連携が少し弱いように感じています。そのあたりも何とかならないものでしょうか。

○教育長

これは大切な視点からご意見を賜りました。確かに松阪地域の各高校では、特色ある取組が多く実践されていますので、そのことと地元高校への進学について、学校支援課から小中学校に伝えてください。特に「飯南ゼミ」について、各校への周知をしっかりとお願いします。

私立の通信制高校については、中学校卒業で高校に進学していないような方への「学び直し」を市として支援するため、現在、向陽台高校と協定を締結して取組を進めています。県立高校についても、現在、入試改革など様々な改革を検討されている途中で、県も努力していただいているところであると伺っております。

他にございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

それでは、最後に事務局から次回の定例会の日程報告をお願いいたします。

◎事務局

次回の教育委員会定例会でございますが、

10月24日(月曜日)、午後1時30分から教育委員会室で開催いたしますのでよろしくお願いいたします。

○教育長

それでは、これもちまして、令和4年9月第12回松阪市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後2時5分 閉会